

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公開番号】特開2010-208024(P2010-208024A)

【公開日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-038

【出願番号】特願2009-53381(P2009-53381)

【国際特許分類】

B 41 J 2/44 (2006.01)

G 03 G 15/00 (2006.01)

G 03 G 15/04 (2006.01)

G 03 G 15/043 (2006.01)

H 04 N 1/113 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/00 M

G 03 G 15/00 3 0 3

G 03 G 15/04 1 2 0

H 04 N 1/04 1 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月6日(2012.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像データに基づいてレーザ光を照射する光源と、

前記レーザ光で走査される感光体と、

前記感光体上の位置に応じた電位ムラに関する情報を記憶する記憶手段と、

前記画像データの種類に応じて、前記記憶手段に記憶された情報に基づいたレーザ光量の補正を実行するか否かを決定し、前記決定に基づいて、前記感光体上の走査位置に応じてレーザ光量を制御する制御手段とを備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記画像データの種類を判別する判別手段と、

前記感光体上の走査位置を示す位置信号を出力する検知手段を更に有し、

前記制御手段は、前記検知手段から出力される位置信号と前記記憶手段に記憶された電位ムラに関する情報と前記判別手段で判別される画像データの種類とに基づいて、前記感光体上の走査位置に応じてレーザ光量を制御することを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記検知手段から出力される位置信号と前記記憶手段に記憶された電位ムラに関する情報と前記判別手段で判別される画像データの種類とに基づいてレーザ光量を補正するための補正データを出力する生成手段を更に有し、

前記制御手段は前記生成手段から出力される補正データに基づいて、前記感光体上の走査位置に応じてレーザ光量を制御することを特徴とする請求項2記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記判別手段で判別される画像データの種類に応じて前記記憶手段に記憶された電位ム

ラに関する情報を使用するか否かを選択する選択手段を更に備え、

前記生成手段は、前記検知手段から出力される位置信号と前記記憶手段に記憶された電位ムラに関する情報と前記判別手段で判別される画像データの種類と前記選択手段での選択結果に基づいてレーザ光量を補正するための補正データを出力することを特徴とする請求項3記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記判別手段は、現像剤が転写されない白領域の画像データであるか否を判別することを特徴とする請求項2乃至4のいずれか1項に記載の画像形成装置。